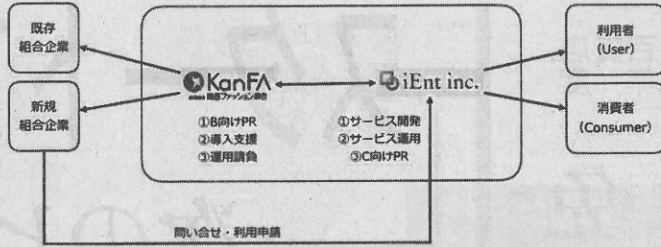


関西ファッション連合(KanFA)は18日、テレビやネットと連動してマーケティングを支援するアイエントとともに、18年1月からメディアと連動した販売促進支援を始める。

(津田茂樹)

関西ファッション連合

この事業はサンプルをスタイリストやインスタグラマーなどのインフルエンサーに提供してメディアやサイトに露出させ、その商品の予約を受注販売するもの。これまでのテレビ番組への衣装協力は、すでに販売されたものが多く、購買を喚起した



プロモーションから販売までをつなぐ
プラットフォームのイメージ

テレビ・SNS連携で販売促進事業

アイエントのプラットフォーム利用

視聴者が売り場に向かって商品が売り切れるなどで、購買機会をなくすことがあった。サンプルを元とすることで、販売までのMD構築が可能となる。

アイエントはスタイリストのオンラインショールーム「スタイリア」、番組で使用された衣装をまとめたコミュニティサイト「コレカウ」、SNS(交流サイト)と連動してECサイトへ誘導する「チャオ」、ソゾタウン内のセレクトショップ「パーキールーム」など複数のウェブサービスを持つ。これらを連動させてプラットフォームとする。このプラットフォームを使い、今回の事業に参加する企業サイトや、パーキールームに送客する。

KanFAは18年1月中旬から加盟社に向けた説明会を複数回開催し、100ブランドでのスタートを予定している。利用価格は通常の約6分の1の月額8900円を基本とする。

森下富雄KanFA理事長は「AI(人工知能)を利用した新たな取り組みで変化をさせたい。大阪の街からこうしたアイデアや情報を実践し成功させることに、さらに力を注ぎたい」と話している。